

位置・気候

十勝管内は、北海道の東南部北緯42°09′～43°38′、東経142°40′～144°02′に位置し、北に大雪山系、西に日高山脈が連なる太平洋側に開けた広大な農業地帯です。中央部を貫流する十勝川は、大雪山系十勝岳を源として太平洋に注いでいます。

十勝地方の気候は、太平洋側気候とも呼ばれ、沿岸部を除き内陸性で、帯広市の年間の平均気温は7.1℃です。降水量は約936mmと道内主要都市の中でも少なく、日照時間は年間約2,014時間と恵まれており全国的にも晴天率の高い地域です。

事項		気象数値													
		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
帯広	気温(℃)	最低	-13.2	-11.9	-5.5	0.8	6.1	10.7	14.9	16.6	12.7	5.1	-1.1	-8.7	2.2
		最高	-1.5	-0.1	4.6	12.1	17.9	21.3	24.2	25.4	21.8	15.8	8.3	1.1	12.6
		平均	-7.1	-5.7	-0.5	5.9	11.4	15.2	18.8	20.3	16.8	10.2	3.5	-3.6	7.1
	降水量(mm)	40.2	27.5	41.3	64.2	84.2	82.7	102.5	143.3	145.9	81.8	66.6	55.6	935.8	
		日照時間(hr)	187.6	193.1	217.7	191.0	187.1	151.0	124.2	125.3	134.3	168.3	164.0	170.7	2,014.3
		札幌平均気温(℃)	-3.3	-2.7	1.0	7.2	12.8	17.0	20.9	22.4	18.5	12.0	5.2	-0.8	9.2
		東京平均気温(℃)	6.2	6.7	9.7	14.8	19.2	22.4	26.2	27.5	24.1	18.7	13.5	8.7	16.5

※昭和63年～平成29年(1988～2017)の30ヶ年平均(気象庁ホームページから帯広開発建設部作成)

面積・人口・土地利用

十勝管内は、1市16町2村で構成され、東西110.4km、南北163.3kmにおよび、総面積10,831.62km²で全道の約13%を占め、振興局ごとの面積では第1位となります。また、全国との比較では都道府県面積で第6位の秋田県と第7位の岐阜県の間に位置します。

総人口は、342,724人で、うち地域経済の中心である帯広市に人口の約49%の167,681人が集中しています。

土地の利用面積は、山林が4,564km²(42.1%)と最も広く、次に畑の2,416km²(22.3%)、牧場の297km²(2.7%)と続き、田は21km²(0.2%)とわずかです。

※面積は、平成29年10月1日現在の全国都道府県市町村別面積調(国土地理院)。

なお、然別湖は水面が境界未定のため、上土幌町及び鹿追町の面積に含まれない(十勝全体の面積に含まれる)。

※人口は、北海道が公表している平成29年12月31日現在の住基ネットにおける人口(北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課調)。

※土地利用は、北海道が公表している平成27年1月1日現在の固定資産の価格等の概要調査(北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課調)。

産業

農業

十勝農業は、経営耕地総面積約24万haという広大な土地を背景に、我が国における代表的な畑作酪農地帯を形成し、食料供給基地として国民の期待を担っており、かつ、十勝の基幹産業となっています。

十勝農業の全道に占めるシェアは、販売農家数14.2%、耕地面積22.4%、乳用牛頭数28.1%、肉用牛頭数45.7%となっています。また、一戸当たりの耕地面積は43.4ha(全道平均27.6ha)、専業農家率は82.3%(全道平均69.8%)と大規模な専業農業地帯となっています。

平成27年度の農業産出額は、2,906億円となっています。

※2015農林業センサス(北海道総合政策部情報統計局統計課)、平成27年市町村別農業産出額(農林水産省)

●十勝で収穫される主な作物(収穫量)の全国シェア

区分	てんさい	ばれいしょ	小麦	大豆	小豆	いんげん
全国	3,189kt	2,199kt	791kt	238kt	64kt	25kt
十勝	1,308kt	702kt	151kt	22kt	41kt	21kt
全国シェア	41%	32%	19%	9%	64%	84%

※平成28年産作物統計(農林水産省)、平成27年～28年北海道農林水産統計年報(北海道農政事務所)(小豆、いんげんは平成27年度産)

林業

十勝管内の森林面積は、およそ691千haで全道森林面積の12.5%を占めており、上川、オホーツク管内に次ぐ主要な森林地帯を形成しています。また、十勝の総土地面積に対する森林面積の割合は63.8%を占めています。森林の所有者別では、国有林が60.2%、民有林は39.8%となっています。

恵まれた森林資源を背景に林業は管内の主要な産業のひとつとなっており、地域の木を地域で利用し消費する「地材地消」の取組を進め、森林資源の循環利用を促進しています。

平成27年の伐採材積は、297千m³となっています

※平成27年度北海道林業統計(北海道水産林務部)

水産業

十勝管内の漁業は、寒流と暖流が接した好漁場の道東太平洋におけるサケ・マス、タラ、シシャモ、イカ、ツブ等を主体とした沿岸・沖合漁業です。

拠点となる漁港には、広尾町の十勝港(漁港区)・音調津漁港、大樹町の旭浜漁港・大樹漁港、豊頃町の大津漁港及び浦幌町の厚内漁港があります。各漁港で整備事業が進められており、今後の発展が期待されています。

平成28年の生産高は、3万t、66億円となっています。

※平成28年度北海道水産現勢(北海道水産林務部)

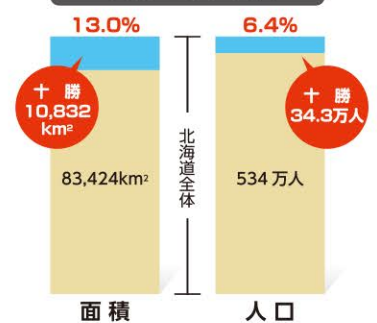
工業

十勝管内の工業は、食品製造業、飲料・飼料製造業、木材・木製品製造業など、第一次産業に深く結びついた地場資源利用型工業が主体となっています。

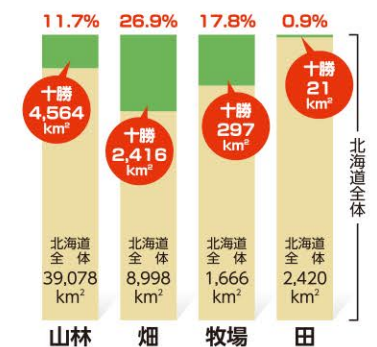
平成27年の年間製造品出荷額は、4,902億円となっています。

※平成28年経済センサス 活動調査 製造業に関する確報(北海道総合政策部情報統計局統計課)

十勝の全道に占める面積と人口の割合



十勝の土地利用構成比(全道シェア)



十勝の産業別全道シェア

